中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(認定)コムサロン21	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 前川 裕司
事業名	播磨NPO中間支援センター事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回 数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R5 実績	29	5	100	6	-
R6 計画	15	5	-	-	-
R6 実績	17	5	239	3	-

< 効果と成果 >

NPO活動の個別相談に関しては、NPO法人として事業をするか、それ以外の法人にするか？等の相談が多く、全体としては、起業の相談が多かったです。具体的な書類作成のアドバイスやチェックは、県のNPO法人等設立支援機関の「播磨地域しごとサポートセンター」を紹介して対応しました。

また、コムサロンの事業を若い人に継承していくために、多様な活動の中でも、若い人も関心のあるものにターゲットを拡充し、姫路城の清掃会は、毎回スタッフ4名。清掃活動は、合計151名の若者の活動参加をいただくことができました。(清掃活動は小学生含む)

大学は、姫路食博のユニバーサルコーナーのサポートとして、2名の方に、参加いただきました。

1.17のひょうご安全の日中播磨地域の集いin姫路では、能登地震の義援金の募集活動やコーラス発表を姫路女学院高校の生徒35名に実施いただきました。

継続していく中で、協力団体が増えて、多様な支援ネットワークが構築されつつあります。

< 今後の展望 >

NPO活動の設立相談においては、任意団体として継続したり、法人化する団体もありますが、相談会終了後はそれにつながりが消えるのではなく、そこから、地域活動が始まり、連携がはじまるという考えでサポートしていきたいと思えます。

その場合の伴走型の運営相談までできるような体制を次年度は、整えたいと思えます。(例：設立相談1回、運営相談1回、設立後3カ月後相談1回等)

姫路城のそうじ会は、毎月参加いただける学生がいますが、次年度は、その若者に小学生の参加のサポートをお願いしてボランティアのすそ野を広げたいと思えます。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自主財源等	4,645
合 計	504,645

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	204,700	204,700
	広告宣伝費	55,000	55,000
	謝金	50,075	50,075
	通信機器リース料	53,080	53,080
	小 計	362,855	362,855
	間接経費 (一般管理費)	141,790	137,145
	合 計	504,645	500,000